

2004年
1月 No.255

SINCE 1977

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp



ボランティア かわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

夫婦ですときにボランティア

今度のサロンは、
なににしようかな
そーだ皆がやりたがってる
美容講座なんかどうだい

地区の中でだれか
教えてくれそうな人
探してみるか



それいいね。お父さん
女性はいくつになっても
綺麗になりたいからね・・・
だれか教えてくれる人
いないかな・・・

長野市ボランティアセンターには、
夫婦でボランティア活動を楽しむ
人達が多く見かけられます。どの夫
婦もみな楽しそうに活動しています。
いったいその秘密はなんだろうと、お話
をうかがってみました。



蟻川夫妻の場合

●プロフィール●
蟻川昭二さん・あや子さん
60代 結婚して33年
主な活動 おしゃべりサロン

本当はパート
ナーとともに、
ボランティア活
動を楽しみたい
—そんなあなた
へ

「実は初めのう
ち、私がボランテ
ィアをするのにあ
まりいい顔をしな

かったのよ。」苦笑いしながらそう話し
てくれたあや子さん。まずは、あや子さ
んに運転免許がなく参加者の送り迎えや
大荷物を運ぶことができなかった時、昭
二さんに運転手役を頼むことから始めま
した。そんな時、あや子さんは「お願い」
「ありがとう」と素直に言葉で感謝の気
持ちを伝えることで、少しずつ昭二さん
をボランティアの世界へと「引きずり込
んで」いったそうです。このエピソード、

▼みんながネットワーク

このかわらばんは信販販売センターのご好意で
一部の地域へボランティアで配付していただいています。

毎月1回発行/購読料・年間300円
[購読料は会費に含まれます]



何か参考になりそうじゃないですか？
夫婦でボランティア
イアしてるとい
いこともある

まず、ボランティア
イアでの出来事を
家を持って帰って、お互いに意見交換が
できること。そして昭二さんはボランテ
イアに一生懸命になるあや子さんに対し
て、以前より忍耐強くなったそうです。
また、ボランティアのことで自宅に電話
がかかってくる回数も増え、電話をとつ
たり、相手の話を聞くのも上手になった
そうです。

蟻川夫妻にとつてきつとボランティアは
かすがいの一つ。食卓を囲み、ボランテ
イア談義に花を咲かせているお二人の姿
が目に浮かびます。

とにかく人が好きなんです！

インタビューを終えて、今、心に響い
ているのはそんなお二人の共通した言葉
お話をうかがった時、ちょうど「あいま
い会」が始まるころでした。次々とい
らっしゃる参加者の方は、あや子さんの
顔を見ると一様にほっとした表情になり
会の代表であるあや子さんを心から頼り
にし、慕っている様子です。あや子さん
の隣で少し照れくさそうにしている昭二
さんは「縁の下のちからもち」的な存在
でしょうか。会をしつかりと支えている

ように思えます。

「とにかく人が好き」と言うお二人。
無機質な世の中でその言葉は、人と人との
つながりの大切さ、そして夫婦という
単位も人と人とのつながりだということ
を見直すよいきっかけとなりそうです。

「あいまい会」今後の方向性として
「初めの目的だった丸テーブル(注1)
でのコーディーネーター(注2)さんのお
手伝い、これをぜひ復活させたいの」
まだまだ意欲的なあや子さんです。

(注1) 長野市ボランティアセンター内にあるテ
ブル。ゆっくりお茶を飲みつつ、情報交
換 ネットワーク作りの場として誰でも
自由に利用できる。

(注2) ボランティアしたい人とボランティアを
求めている人をつなぎ、相談窓口となつ
たり、活動しやすい環境をととのえたり
と、ボランティア活動の発信、受け入れ
調整を行う

取材 勝田貴子



寺澤夫妻の場合



●プロフィール●
寺澤昭彦さん・小百合さん
30代
結婚して10年
主な活動
昭彦さん：
ながのこどもの城いきいきプロジェクト
小百合さん：ひよこの会
浅川児童センター母親クラブ
ながのこどもの城いきいきプロジェクト

妻を手伝つうちに夫も

数多くの活動を通じて、子育て中の母
親・子供支援をされている小百合さん。
そんな小百合さんをいつも身近で見たい
た昭彦さんは、「手が空いているときに
何か手伝いができれば」と思ったのがボ
ランティア参加の始まりだったそうです。
今は仕事をしながら、空いている時間に
楽しみながら主に、小百合さんの活動支
援という形でかかわっています。ボラ
ンティアの楽しさと大変さの両方を理解
し合う寺澤さん夫婦、これまでの間に
は考え方の違いもあったのでは、と
気になるところですが「あったかもしれ
ないけど、あまり深い話をした覚えはな

いかな」とのこと。自然な流れにのって
今に至っている、お二人のお話からはそ
んな様子がうかがえます。

そして、家族で・・・

寺澤さん夫婦は、たがな子育ての真っ
最中。ボランティア同様、三人のお子さ
んの子育てもお二人で協力しています。
もともと子供好きの昭彦さんですがはじ
めから積極的に子育てに関わったのでは
なく、小百合さんの大変な姿を見ている
うちになのだそうです。「私の手が足り
ていたら夫の育児参加は無かったかも」
と小百合さんはおっしゃいます。その三
人のお子さんたちもまた、小さい頃から
ひよこの会などで一緒に活動をしていて、
今でもお二人と一緒にボランティアに携
わっています。昭彦さんは「子供たちも
学ぶことが多いでしょうね」と、社会参
加の意義を感じると同時に「家族でひと
つのができるのはすばらしいこと」
とおっしゃいます。ボランティアは家族
みんなが共有できる貴重な体験となつて
いるのですね。

秘訣は「自然体」

仕事に育児にと忙しい毎日の中でボラ
ンティアをされているお二人。ボランティ
アに対して非常に熱い思いを抱きつつも、
臨む姿勢は肩に力が入り過ぎずにとても
自然体！これがボランティアと関わり
続けていく秘訣なのでは!? そんな気
がします。

取材 宮澤久美



松村夫妻の場合

●プロフィール●
 松村隆さん・真理子さん
 40代
 結婚して21年
 主な活動
 北信外国人医療ネットワーク
 長野いのちの電話

東京Y
 MCAで
 出会って、
 二人とも
 そのまま
 キャンプ
 が仕事に
 なって、
 そして結
 婚。二人
 一緒にやっ

ている活動と、バラバラの活動とあるけれども、二人とも同じ思考性を持って活動していると1+1=2以上になる。それにお互いの得意分野が分かっているから、お互い足りない部分を補え合えるっていうのもあるよね。成長の度合いもすぐに分かる。

妻 Y M C A っていうのは、キリスト教の精神に基づいた青少年の教育団体で、私は両親が共働きっていうこともあって、子供の頃から入っていた。夫 僕は大学に入った年から。東京では同期なんだよね、僕たち。考えてみ



ると長いなあ。

妻 第一印象はなんてどんくさい人なんだろうって。チラシ一枚作るのだったって、休みの日に来て作んなきゃいけないのって。今からじゃ想像もできないけど。

夫 対してこちらはテキパキと仕事をこなしていたよね。ホント。

どちらが主婦(夫)をやるか

夫 本気でこれ話し合ったよね。二人で結婚するって決めたとき。

妻 そう。でも子供が小さいうちは母親

にしかできないことがけっこうあって、したいこととかをがまんしなくちゃいけないときがある。でも彼は出掛けていく。後姿に向かって奥歯をかみ締めていました。彼がぐんぐん力をつけていくのが分かって、こちらだけが取り残されていく気分になった。

夫 でも、今じゃお互い大切な活動をしているってわかっているから、文句はないよね。

妻 「このバジヤマの脱ぎ方は何なのよっ」って、日常生活のささいなことからお互いの活動の話にはっとスイッチが入れ替わる「この問題の根本は…」なんてね。

お互いに尊敬し、尊重しあっているふたりの様子がとてもすてきでした。まさしく社会派夫妻です。

取材 滝沢綾乃



若山夫妻の場合

●プロフィール●
 若山正則さん・典子さん
 50代
 結婚して29年
 主な活動
 ハッピーサークルながの

Q、どんなボランティアをしていますか？

「初めは、主に地域や家庭で閉じこもりがちの高齢者を対象に、ダンスでもな

い体操でもない、楽しくて覚えやすいハッピーダンスを通し、仲間とふれあい楽しんでもらうことで、生きがいをもっていただけたらというところで始まりました。今では高齢者ばかりではなく、障害者、地域の方々、PTAなども対象に活動しています。」

Q ボランティア活動を始めたきっかけは？

「夫婦で長い間社交ダンスをしてきましたが、最近ではダンスブームで高齢者の方も参加されるようになってきました。しかし、高齢者の方はなかなかダンスを覚えられずに挫折される方が多いのが気がかりになり、何か良いものがないかと探していたところ、個人やペアではなく、グループで楽しめるハッピーダンスに出会い、この楽しさをより多くの人に知ってもらいたいと思ったのがきっかけです。

取材 徳竹稔宣

自分たちの趣味であるダンスを通じて、何か人のためになることがしたくて活動をしていたら、たまたまボランティアだったわけです。自分の好きなことを続けてきただけなんですよ。」



Q 夫婦でボランティアをしているメリット・デメリットは？

「子供が独立し夫婦でいつも一緒に活動出来るため、いつでも相談することが出来、お互いに尊重しあえる反面、これからの展開について意見の違いから喧嘩になることもあります。」

Q ボランティアを通じて思うこと、感じる点。またボランティアは若山ご夫婦にとってなんですか？

「参加された方より『楽しかった、またお願いね』と言われることが何より楽しみです。皆さんの笑顔を見ることが何よりうれしいですね。ボランティア活動は、私たちにとって、生きがいでもあり楽しみです」

発表会を控えて、会場準備や来てくださる方の対応に追われる中での取材にもかかわらず、ご夫婦揃って笑顔でお話してください、今でもお互いを思いあっているアツアツご夫婦でした。



返町夫妻の場合

●プロフィール●
 返町洋三さん・としいさん
 50代
 結婚して28年
 主な活動
 障害者と街に出よう
 国際交流、お茶のみサロンetc



オリンピック時のホームステイ受け入れがきっかけで返町家族のボランティアが始まりました。

今までに受け入れた外国人の出身国はざっと11カ国。「世界中に自分たちの子供がいるんです」ととしいさん。洋三さんは受け入れだけにとどまらず韓国への逆押し掛けツアーや、アフリカ、タンザニアまで自分の手でサッカーボールを届けてしまうほどの行動派。そしてとしいさんが4人目のお子さんを育てるとき、これが最後の子育てになると思い、子供と一緒にはじめた高齢者の施設訪問。いつの間にか子供が友達を誘って行くようになり、子供もすっかりボランティア活動にはまっています。まさに家族でそれぞれができるボランティアを楽しんでいるようです。

「ひらめき」で「すく」を大切にみんなを巻き込み

障害者と一緒に街へ繰り出す活動や、

西堀地区でのお茶のみサロン、ホームステイの受け入れなど、洋三さんは「自分がやってみたい、行ってみたい、見てみたいと思うこと、人がやっていないこととか、こんなことあったらいいのになと思うこと」を、みんなを巻き込んでやってみただけだよ」と話してくださいました。自分たちの楽しみだけでは終わらせず、みんなを巻き込んで楽しんでしまう返町夫妻。夫婦の会話はもっぱら「お茶のみサロン」の打合せだそうです。

インタビューを終えて

ちよつとはにかみながらもちよつといたずらっぽく、どこか難しい顔で話をする洋三さん。その隣でこにこと笑顔を絶やさずほどよく合の手を入れながら「自分たちが楽しいからやっているとね、お父さん」とさらりと流すらしいさん。それぞれの活動も尊重しつつ、二人で一緒に活動するときはひいたり押ししたりしながら進めている様子がとても印象的でした。常に社会の動きに敏感で自分たちの足元の問題課題から広い世界へも目を向けられるお二人のバランス感覚が、夫婦のバランスの良さだとだぶつてみえました。一緒に取材をしていた独身スタッフが最後に一言「なんだか私も結婚したくなりましよー」なによりも返町夫妻の今日の一番の社会貢献ではないでしょうか！

取材 戸田千登美



グリーンノート

『赤い鳥、小鳥、なぜなぜ赤い。赤い実をたべた・・・』



ローズヒップ(ドッグローズの実)はビタミンCたっぷり、お茶やジャムにします。赤い実は収穫するのは楽しい。

く、ヒトもでしょうね。

(作詞北原白秋) 小さい頃はほんとうにそうなると思っていました。ハナミズキ、サンシュユ、ノバラの実などなど葉が落ちてこそは輝いています。凍ってついた空気の中でポット暖かい。ホーリー、ナンテン、千両、万両…これからの季節の行事には欠かせません。赤い実が好きなのは鳥だけでなく、

グリーンボランティア 徳永

スタッフ日記

あけましておめでとうございます。元日の朝我が家の庭を見ると、新年早々モグラが穴を掘り返した跡があるじゃありませんか。あまりに派手に掘り起こしてあり、腹が立つよりも何となく縁起が良いのではと思ってしまうました(笑)。このモグラの如く威勢良く事に当たろうと思っはいるのですが…。今年も精進精進！よろしくお願ひします。(Y・T)

虹の小箱

虹のボランティア 第25回

グループ名

虹の小箱

今日の虹の小箱からは何が飛び出るかな？虹の橋を渡って楽しい話が運ばれてきます。民話をテーマに大型紙芝居を作り、そのお話にふさわしい語り口と、動く画は見る人の視線を釘づけにします。活動範囲は学校、図書館、老人センターと幅広く大勢の目を楽しませ

せてくれます。メンバー8人中仕事に就いている人は6人と、仕事以外に生きがいを持って、はつらつと活躍しておりますので家族より苦情も出る事はないそうです。結成より5年仲間で作製した作品は40作におよぶそうです。声のかかった場所へはどこでも主張していくこのグループの活動を一度見たいかがですか？

紹介者 青の会

12月分の相談現場

ボランティアセンターの



ボラしたい

肌着の寄付をしたい
買い込んでストックしておいた肌着がたくさんあるのでどこかでつかってほしい。

老人ホームに関わっているアドバイザー修了生の方に仲介してもらい、内容と受け渡し方法をきめて、寄付することに決まった。

年末にボランティアしたい
医療検診のボランティアをした。そのとき、今後の予定で年末のことを聞いた。参加したいので年末の情報がほしい。

チラシ・掲示コーナーに情報を寄せてもらっていて、いっしょに探して活動に参加できるようになった。

ボラ求む

介護をしてほしい
足に障害がありゴミ出しが大変なので手伝ってほしい。

長期にわたる希望であったので、有償サービスなども検討しながら話し合っていく内に、サービスや職業でなく関わってほしいというような希望であることがわかってきて、本人の希望を引き続き聞きながら検討を進めている。

クリスマス会に音楽をしてほしい
老人ホーム。予定していた会の方の都合がつかなくなってしまった。音楽で盛り上げたいので誰か演奏に来てほしい。

先日、高齢者の方に音楽を聴くだけでなく、一緒に歌ったり口ずさんだりしながら楽しんでもらえるように工夫して、仲間の特技を生かしながらの活動を始めたとお聞きした会に連絡を取り、調整した。

情報提供

読み聞かせの講師を紹介してほしい
他市、図書館で読み聞かせの講習を行う。地域での活動を広げることを狙っている。講師を紹介してほしい。

先方の希望の講師に了解を得た上で紹介した。

傾聴電話の内容を知りたい
新しくはじまった「傾聴電話」の内容を教えてください。会社の社会貢献室で社員に広報したい。電話の内容と、今後の研修募集の内容についても知りたい。

気軽にかけて、心にあることをお話していただく電話で、長野市社会福祉協議会の新しい事業であること、研修募集は4月以降になることを、情報提供した。

活動支援

会のHPを開設したいと考えている
会でいろいろな活動をしているので、HPを立ち上げたいと検討中。具体的になってきたら、いろいろわからないことも出てくると思う。

アイマスクはホームセンター等で、白杖は日本点字図書館のHPで通信販売できることを情報提供した。

アイマスクの購入先を教えてください
小学校で体験を進めたいので、アイマスクなどを購入したい。どこで買ったらいいか。

来年度の講座について
地域の中で、ケアが必要な方の溜まり場などのところがほしいとの希望が出てきた。来年度の予定に組み込んでいきたい。

声を吸い上げながら、方法を検討してゆくことになった。

相談

車いすトイレの使い勝手
車いすトイレを使っているが、背中にあたる部分がでこぼこしていただきたい。

クッションを当ててみるとちょうどよく、使ってもらえるように用意した。



現場状況 12月分

□相談支援	
ボラしたい	15件
ボラ求む	15件
情報求む	36件
ボラ活動支援	8件
ボラ活動上の悩み	4件
よろず・悩み	8件
ボラ保険・事故処理	2件
その他	4件
合計	92件

□問い合わせ	
会議室予約	181件
伝言	198件
情報提供	205件
機材貸し出し	102件
チラシ・掲示物	25件
その他	242件
受付(よりいい会等)	639件
合計	1,592件

□情報カード受付	20件
□機材貸し出し	26件 129ヶ
□ボランティア保険加入	
ボランティア活動	13件
行事用保険	6件
在宅福祉サービス総合	0件
送迎サービス補償	0件
合計	19件

催し 平成15年度企業等ボランティアミニ二足のわらじをどう履くか!!

実践レポートを聞き、実際に体験してみませんか? 市民活動団体と企業・NPOと一緒に情報交換ができる「月例情報市場」など企画が盛りだくさん。

参加費無料。

日時: 1月21日(水) 13:00~17:00

場所: サンプラザ三王

問: 長野県ボランティア活動振興センター

TEL 026-226-1882

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

TEL 026-227-3707

催し あなたのパソコン、診察します。

基本的操作から何でもご相談に応じます。パソコンをご持参のうえ、ご来場ください。

日時: 毎月第3土曜日 10:00~15:00 / 場所: 長野市フルネットセンター

問: パソコンの病院ながの info@pch-nagano.jp

催し 長野県高校生ボランティア研究集会 同世代のおたけび ~高校生の主張~

みんなどんなことを考えているの? こんな時はどうしてる? 日頃思っていることや悩みをぶつけてみませんか?

日時: 1月31日(土)~2月1日(日)

参加費: ¥7,500 (宿泊費込み)

場所: アゲインホール/もんぜんぶら座/ホテル アルティイ



問: 長野県ボランティア活動振興センター 長峰

TEL 026-226-1882 / vcenter@nsyakyo.or.jp

催し おしゃべりCAFE in 国際交流コーナー

国籍を超えたメンバーで楽しくおしゃべりしませんか? 日本語が理解できればOK!

参加費: ¥200

日時: 1月13日(火) 19:00~21:00

場所: 長野市もんぜんぶら座3F

問: おしゃべりCAFE実行委員会

TEL 026-223-0053

催し 第3回スペシャルオリンピック日本冬季ユニバーシアード・長野 -2005年スペシャルオリンピック冬季世界大会・プレ大会-

スペシャルオリンピックは知的発達障害があるために、一度も走ったり泳いだり、雪や氷の上を滑ったことのない人たちにその場を提供したい。その願いから歩み出した、自立と社会参加を日々のトレーニングや競技会を通じて達成する国際的なスポーツ組織です。この大会はアジアで初めて開催されるという、大変意義深い大会です。

日時: 2月27日(金)~29日(日)

場所: 長野市・牟礼村・白馬村・山ノ内町

問: スペシャルオリンピック日本・長野 三波 / TEL 026-227-2005

催し 子育て・孫育て教室

子育ては若い者に任せた! という物分りのよいおじいちゃん、おばあちゃん。若い者は助けて欲しいんです。

日時: 毎月第2金曜日 / 参加費: 無料

場所: 長野市もんぜんぶら座

問: 北信助産師会 田中 / 026-241-4823

催し 虹のダイヤ 第13回長野市民演劇祭

その島にはいつも虹がかかっている。それは虹のダイヤのおかげ。

日時: 2月11日(水) 11:30~開場 / 場所: 若里市民文化ホール

参加費: 一般¥300 / 中学生以下無料。

問: 劇団ちいさなキャロット 松本 TEL 090-1776-3765

催し ふれあいビデオクラブ 映像鑑賞会

ビデオ愛好家達が撮った映像の数々をお楽しみください。参加費無料。

日時: 1月24日(土) 10:00~16:00

場所: ふれあい福祉センター5Fホール

問: ふれあいビデオクラブ 山崎

TEL 026-234-3334



情報 車イスマーク お求めはこちらで

車につける車椅子マークはホームセンターやカー用品店等で販売しています。

問: 長野市ボランティアセンター

TEL 026-227-3707

催し Hot Winter ~雪とともだち~ 第23回 雪の学校

パウダー・スノーにレクリエーション、みんなで食べる楽しい食事。雪の学校の魅力を堪能してみないか!? 参加対象はハンディを持つ児童とその友達25名。1月31日締切。

◆雪の学校開催日時

日時: 平成15年2月21日(土)~22日(日)

場所: 長野市小田切 長野青少年錬成センター (TEL 026-229-3731)

参加費: 小学生以下¥4,500 / 中学生以上¥5,000

◆参加者顔合わせ会(※参加者の方は必ずご参加ください。)

日時: 2月14日(土) / 場所: ふれあい福祉センター 4F

問: 長野市ボランティアセンター内 雪の学校実行委員会事務局

TEL 026-227-3707 / Fax 224-1513 / vc107@vmetnagano.or.jp

情報かわらばん

情報

いつも傾聴でんわ 始まりました

現代の急激な変化を要求される社会の中で誰もが心の中に溜まったことを聞いてほしいと感じることがあるのではないでしょうか？そんなときに電話を聞いて心の重荷を軽くするお手伝いをするために、ボランティアで電話を受ける「いつも傾聴でんわ」を12月6日より開始しました。

まわりの人に話せない おしゃべりしたい
そんな時 誰にも話さないから 安心してかけて
さみしい うれしい 楽しい くやしい etc
しゃべりっぱなしでいいんだよ
あなたが選ぶ電話です

<いつも傾聴でんわ>

TEL 026-225-0404

月・水・土 14:00~18:00

問:長野市社会福祉協議会・長野市ボランティアセンター内

傾聴電話担当 TEL 026-227-3707/Fax 026-224-1513

催し

第8回 こもん場 「文字のくれた・・・あたりまえ」

様々なあたりまえなことにスポットを当てて議論してきたこもん場。今回のテーマは“文字”文字の持つ色々な可能性を探ってみませんか？

日時:1月12日(月)17:30開場

場所:善光寺西之門よしのや

参加費:交流会のみ ¥1,500



問:こもん場 common_jo@yahoo.co.jp

催し

冬のあそび広場 木枯らしなんか吹き飛ばせ!!

今年のあそび広場は新田町の商店街に飛び出します。勿論毎年恒例の小児科などの相談コーナーや、お楽しみ広場コーナー、マジックショーやコンサートもあります。

日時:2月7日(土)~2月8日(日)10:00~16:00

場所:もんぜんぶら座およびその周辺

参加費:無料(但し材料費は実費)

問:ながのこどもの城いきいきプロジェクト

TEL/Fax 026-225-5467

求む

新メンバー求む 若者よ、来たれ!

月1回イベントに遊びに行ったり、スペシャルマナーや雪の学校の企画を立てたり。他にも高校生同士色々な活動を予定しています。あなたの参加をお待ちしております。

問:高校生ボランティアサークル

heavenly.place@ezweb.ne.jp



情報

FMぜんこうじ 今月の出演者はだ〜れ?

毎週木曜日、12:45~55. 76.5MHz.Zでボランティア関連情報が流れます。今月はプロフェッショナル養成塾特集です。

1月8日:信更いっば



農産物の加工・直売所を通して女性達が町

おこしを計画中。今年のプロフェッショナル大賞受賞

1月15日:長野県社協・ボランティア活動振興センター

長野県高校生ボランティア研究集会のお知らせ

1月22日:コミュニケーター部門 展望賞受賞者

1月29日:スポーツ天国NO.1 遊び方講習会を展開中。

2月の出演者募集中...

問:長野市ボランティアセンター 滝沢 TEL 026-227-3707

情報

人口 内耳

それは聴覚障害者が聴こえを取り戻す為の機器

手術病院の所在地、費用やその他何でも分からないこと、何でもお聞きください。

問:人口内耳の会「ACITA」 TEL 046-255-0724

情報

身体障害者補助犬法を知っていますか 有馬もと(大月書店刊)

身体障害者補助犬法がスタートし、盲導犬・聴導犬、介助犬を公共施設や電車に民間の店舗や会社にも同伴できるようになりました。法律の成立に関わった著者がその背景や内容、社会の側がどう受け入れていくかを解説します。税別¥1,500

問:長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707

催し

ラリーマン・ワーマンのためのボランティアサロ

社会人のための正しい遊び方講座

3回目を迎えた今回は「簡単クッキング」お鍋の作り方さむ〜い冬、体も心も冷え切ってしまうような冬、お鍋であったかい仲間作りをしませんか?

日時:2月6日(金)19:00~

場所:ふれあい福祉センター4F 調理室

参加費:実費割り勘

問:ボランティアサロ運営委員会 滝沢

TEL 026-227-3707(ボランティアセンター内)

催し

ボランティアの集い みんなでホイ×3

今年も熱いホイがやってくる!長野市中からボランティア活動者が集まるこの日。今年はどうなるのか、乞うご期待!

日時:3月7日(日)/場所:ふれあい福祉センター全館

問:長野市ボランティアセンター 寺島

TEL 026-227-3707/Fax 224-1513

出会いをつくる
新鮮!! 情報紙

1月 ボランティア
かわらばん
No. 255

ながのボランティアかわらばん編集委員会

求む!

ボランティア

します!

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む 書き損じはがき、ください

長野市のボランティア活動振興基金に充当する為、年賀状の書き損じ葉書、古葉書を集めています。ご協力をお願いします。

長野市ボランティアセンター 滝沢 Tel 026-227-3707

求む 第23回雪の学校
ボランティアスタッフ求む

メンバーは身体障害、聴覚障害等がありますが、皆元気いっぱい! 実行委員はみんな高校生。簡単な介助ができる方、楽しく仲間作りしたい方お越しください。中学生以上の方求む。定員80名。

◆講習会・参加者顔合わせ会

日時:2月14日(土) / 場所:ふれあい福祉センター

◆雪の学校

日時:平成15年2月21日(土)~22日(日)

参加費:¥5,000

場所:長野青少年錬成センター/参加締切:1月31日(土)

参加申込:長野市ボランティアセンター内「雪の学校」事務局

Tel 026-224-1513 / Fax 224-1513

vc107@vnetnagano.or.jp

お知らせ

次回かわらばんは2月5

(木)発行予定です。

情報欄に掲載希望の団体は、

今月1月25日までにご連絡をお願い致します。

問:長野市ボランティアセンター

滝沢

Tel 026-227-3707

Fax 224-1513

vc103@vnetnagano.or.jp

求む 冬の遊び広場
運営スタッフ

遊び広場で、遊びコーナーや

お楽しみ広場で子供達と

遊びたい方求む。

日時:2月7日(土)~

8日(日)

場所:もんぜんぶら座

及び周辺

問:ながのこどもの城

いきいきプロジェクト

Tel/Fax 026-225-5467

求む 長野いのちの電話

第10期 相談員募集

いのちの電話は悩んだり孤独や不安に陥ったり、生きる目標が見えなくなったり、心が疲れきって自分を見失っている人々に、電話を通して共に考え、感じ、援助することを目的とするボランティア活動です。只今4月開講の電話相談員養成講座の受講生を募集中。

受講資格:23歳~63歳迄。本会の趣旨に賛同し、この

活動に定期的に参加できる方。

研修期間:2004年4月~2005年3月

(原則月3回/土 13:30~16:30)

受講料:¥40,000/受付:2004年2月14日迄

※研修後、認定委員会の認定審査を受け適性と認められた方が相談員となります。

問:社会福祉法人 長野いのちの電話

Tel 026-225-1000

求む 全国障害者問題研究会

全国大会ながの2004運営スタッフ

当会は'67年に障害者とその家族、教育・医療・福祉等の関係者によって組織されました。全国大会では保育・参加者移送・交通案内・物品販売・運営など貴方のお力を貸してください。

日時:8月6日(金)~8日(日)

問:全障研第38回全国大会準備委員会 綿貫

〒380-0803 長野市三輪9-29-1 Fax:026-241-7484

掲示板求む

あなたの会社や住んでいる地区にボランティア掲示板を作りませんか?

問:長野市ボランティ

アセンター 戸田

026-227-3707

求む パソコンドクター求む

パソコンのリフトやハード、操作方法や使い方などのよろず相談にのれる方求む。

日時:第3土曜日10:00~15:00

場所:長野市フルネットセンター



問:パソコンの病院ながの

info@pch-nagano.jp